

違いを知り、認め合う

高崎恵さんが行った児童向けワークショップでは、子どもたちに同じテーマで絵を描いてもらい、それぞれの違いについて話し合いました。ここでのルールは「あなたは違う」ではなく、「わたしはこう思う」という「自分」が主語の「わたしメッセージ」で話し合うこと。こどもたちは、「おなじテーマで描いたのに、みんなちがう絵になっていて面白い」、「色々な書き方があることに気づいた」と一人一人が「ち

LEARNING



◎7月1日、終原小学校で、「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」（主催：県男女共同参画センター）が開催されました。午前中は児童向け、午後は職員向け、地域・保護者向けのワークショップが行われました。

講師：ワークショップデザイナー
高崎 恵さん（オフィスピア）

がい」を楽しめる感覚や、認め合うことを学びました。

高崎さんからメッセージ

立場や性別など、目立ちやすいことに注目すると、それ以外の個性が見えにくくなります。一人一人の良さを伸ばし、苦手なことは助け合ってほしい。「わたしメッセージ」をうまく使いながら、いろいろな「ちがい」を認め合い、その「ちがい」を重ね合わせ、豊かな子どもたちになっていってください。

Gender Equality

男女共同

知ると、少し、考える

男女共同参画社会

男女共同参画社会とは「男女が社会の対等な構成員として、自らの意志であらゆる分野の活動に参加する機会が与えられ、ともに社会的利益を受け、責任を担う社会」のことです。少し堅苦しいイメージがありますが、男性も女性もともに生きやすい社会を作っていくという取組です。県では、毎年7月25日〜31日を「男女共同参画週間」と定め、講演会やワークショップなどの啓発活動が行われます。垂水市でも市役所職員向け研修会や終原小学校で児童・保護者・職員向けのワークショップが行われました。現在、第2次垂水市男女共同参画基本計画の策定に取り組んでおります。

インタビュアーやワークショップの様子を通じて、男女共同参画について、少し考える機会となれば幸いです。

INTERVIEW 1



オフィスピア代表
たもつ ゆかりさん

◎6月21日・26日、市役所職員向けに男女共同参画社会についての研修会が行われました。この研修会で講師を務め、鹿児島県の男女共同参画協議会会長も務める たもつ ゆかりさんにお話を伺いました。

継続して伝え、 少しずつ変える

平成28年度の県民意識調査で「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に、初めて「否定的（そうでない）」という意見が「肯定的」を上回りました。昭和54年に国が行った調査では、7割の人がこのような役割分担意識に「肯定的」でした。それからするとこれまでの啓発活動等が少し実を結んだのではと思います。ただし、男性だけで見るとまだ5割以上が「肯定的」

な意見です。これまでの社会情勢などから文化のように定着しているのだと思います。現代は、夫婦共働きをしないと、家を建てたり、子どもを大学へ進学させることは簡単ではありません。女性の社会進出だけではなく、労働環境の改善など、誰もが豊かな生活を送れる環境が必要です。人の意識を変えることは簡単ではありません。個人の意識だけに目を向けるのではなく、個人の意識に影響を与える社会や地域に啓発活動を継続してやっていくことが大切です。

INTERVIEW 2



垂水市議会議員
池田 みすずさん

◎本年4月の垂水市議会選挙を経て、垂水市初の女性議員となった池田みすずさん。今回の研修会やワークショップにも参加した池田議員にそこで感じたことや今後の取組についてお話を伺いました。

周りのサポートと 環境を整える

市議会議員となり、たくさんの方々とお話をする機会があります。先日、若い働く女性の方々からお話を聴く機会がありました。やはり「結婚したり、子どもが生まれたら今の仕事が続けられるか心配」という声が多く聞かれました。女性の方々が出産、子育てを経験する中で、組織や周りの人たちのサポート、またそれが可能な環境を整える必要があると思います。今回、研修

私にできること

女性市議として、女性の方々が同性的の私にだからお話ししていただけることがあると思っています。男女共同参画の取組は、女性のことに限ったものではありませんが、今の私にできることを考え、市民の方々がよりよい環境で仕事も家庭も充実した暮らしができるようしていきたいです。